

## 先天性骨盤内動静脈奇形の1例

はやし 隆 則 やま ぐち ひろ し  
 すみ 文 宣 山 口 広 司

キーワード：先天性骨盤内動静脈奇形，経皮的動脈塞栓術

### 要 旨

まれな疾患である先天性骨盤内動静脈奇形の1例を経験した。症例は52歳男性。自覚症状は認めず，健康診断の際直腸診にて前立腺部の拍動性腫瘍を触知された。血管造影にて骨盤内動静脈奇形と診断し塞栓術を施行した。

### はじめに

動静脈奇形は毛細血管を介さない動静脈間の短絡を有する血管奇形で，四肢・脳・肺・腎などに多いが，骨盤内発生は稀とされている。

今回，我々は前立腺部に異常血管瘤を認め，骨盤内の手術，外傷の既往がないことより，先天性動静脈奇形と考えられた症例を経験したので文献的考察を含めて報告する。

現病歴：健康診断の際，直腸診で前立腺部に拍動性腫瘍を触知され紹介となる。この際，大腸内視鏡検査では腺腫を認めたのみで特に異常は認められていない。

画像検査所見

CTでは前立腺左葉に早期より濃染される直径15 mmに拡張した血管陰影があり（図1），左精囊腺外側には血管集簇を認めた（図2）。また前立

### 症 例

患者：52歳 男性

主訴：健康診断の際に前立腺部の異常を指摘される。自覚症状は認めていない。

既往歴：骨盤内外傷および手術の既往なし。

家族歴：特記事項なし。

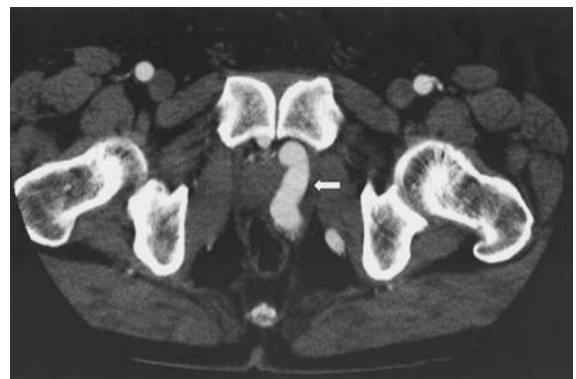


図1 CT

前立腺左葉に拡張した血管陰影を認める

Takanori HAYASHI et al.

松江市立病院泌尿器科

連絡先：〒690-8509 松江市乃白町32-1